Creative Enzymes®

ヒト由来グアニル酸キナーゼ、組換え型

Cat. No. NATE-1637

Lot. No. (See product label)

はじめに

明	酵素学において、グアニル酸キナーゼ（EC 2.7.4.8）は、化学反を触媒する酵素です：ATP + GMP↔ ADP + GDP。したがって、この酵素の二つの基質はATPとGMPであり、その二つの生成物はADPとGDPです。この酵素は転移酵素のファミリーに属し、特にリンを含む基を転送する酵素（リン酸転移酵素）であり、受容体としてリン酸基を持ちます。この酵素はプリン代謝に関与しています。
別名	デオキシグアニル酸キナーゼ; 5'-GMPキナーゼ; GMPキナーゼ; グアノシン一リン酸キナーゼ; ATP:GMPホスホトランスフェラーゼ; GMK

製品情報

種	人間
由来	E. coli
形態	液体
製剤化	5 mg/mlの50 mM酢酸ナトリウム、100 mM NaCl、5 mM DTT、5 mM EDTA、pH 5.0、10%グリセロールを含む。
***EC*番号**	EC 2.7.4.8
分子量	23.9 kDa
純度	> SDS-PAGEによる90%
活性	>100 ユニット/mg
単位定義	1.0μモルのGMPとATPをGDPとADPに換する酵素の量として定義され、pH 7.5、37°CでPK/LDHと結合したシステムで1分あたりの量です。

保管・発送情報

保存方法	-20°Cで